

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 3 月 25 日

事務事業名		関東国道協会参画事業					事業区分		担当		
							新規/継続 単独/補助	継続 単独	事務事業No.	050303000357	
		政策体系上の位置付け							所属課	060101 建設課	
政 策 体 系	総合計画の施策名	0503 道路網の整備							課長名		
	政策名	05 快適な暮らしのまちづくり							グループ	管理グループ	
	施策名	03 道路網の整備							担当者名		
	手段名	03 ③国道・県道の整備促進									
財務会計上の位置付け						事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (年度~)		
	01	08	01	01	02	00	土木総務事業		☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		
法令根拠	関東国道協会規約										

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像) 生活を支える基盤としての国道等道路の重要性について広く国民の理解を求めるとともに、国道事業等の円滑かつ着実な推進に寄与することにより魅力ある地域社会と豊かな国民生活の実現を図ることを目的とし参画する。 (※関東国道協会は、国道50号整備促進期成同盟会の上部組織である)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 関係組織による総会・研修会及び要望活動への参加
手 段	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
・総会、研修会等への出席、連絡調整 ・要望活動 ・負担金支払	総会への参加	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	負担金額	千円	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
市町村等	構成団体数	団体	340.00	342.00	342.00	342.00	342.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
国道事業等の円滑かつ着実な推進をはかる	研修会回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

			30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定 総投入量	
投 入 量	事 業 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	36	36	36	0
		事業費計(A)	千円	36	36	36	0
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人		
01年度事業費 実績 (千円)							
19 負担金補助及び交付金			36		19 負担金補助及び交付金	36	
02年度事業費 予算 (千円)							
19 負担金補助及び交付金							
合 計				36	合 計	36	

事務事業名	関東国道協会参画事業	事務事業No.	50303000357	所属課	建設課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 道路整備の促進を図ることを目的として事業開始。(H2. 12)					
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 国道50号線、長方以西の4車線化を強く要望されている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

現 状 維 持		有 効 性		効 率 性		公 平 性	
評 価 項 目							
①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)							
結ばれている		国道事業等の円滑・着実な事業推進に結びついている。					
②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)							
妥当である		関東地区の関係市町村で組織する協議会なので、参画することは妥当である					
③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)							
向上余地がない		今後も道路整備状況を切実に訴えていく要望活動が必要であるが、財政事情により現時点では向上の余地がない。					
④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)							
影響有		整備等の遅滞					
⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 国道50号整備促進期成同盟会							
余地がない		協議会・同盟会組織の目的事業と類似しているが、それぞれの組織構成が違う。					
⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)							
削減余地がない		定額負担金による運営組織であり削減は難しい。					
⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)							
公正・公平である		協議同盟会の参画事業であり受益者負担になじまない。					

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇨	当市、長方地区以西の4車線化の要望を国道50号整備促進期成同盟会をとおり関係機関に要望活動を継続する。																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
□ 終了 ■ 継続 □ 廃止 □ 休止		(複数回答可) □ 改革改善を行う → (□ 目的の再設定 □ 効率性の改善) (□ 有効性の改善 □ 公平性の改善) (□ 統廃合ができる □ 連携ができる)																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上維持		○	×																		
	低下	×	×	×																		
		(6) 事務事業優先度評価結果																				
		成果優先度評価結果																				
		◎																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価		確認欄	
A	A：継続(現状維持) C：終了、廃止、休止 B：継続(改革改善を行う) D：2次評価へ提出	□	